

【石垣市】

ネットワーク整備計画

1. 必要なネットワーク速度が確保できている学校数、総学校数に占める割合（％）

「学校ネットワーク改善ガイドブック」（文部科学省・令和6年4月）の2.3③の方法により測定（令和6年4月1～30日）した結果、「学校規模ごとの当面の推奨帯域」（文部科学省・令和6年4月）を確保できている学校数は18校であり、総学校数（28校）に占める割合は64％である。

2. 必要なネットワークの確保に向けた計画

（1）ネットワークアセスメントによる課題特定のスケジュール

本市においては、ネットワーク保守管理委託事業者及びネットワーク事業者と連携して、学校の現地調査等を行い、ネットワーク速度の確保に向けた課題を特定した。

学校側設備については、無線AP、L2SW、ルータ、LANケーブルに劣化や性能不良はなくLAN環境に問題は見受けられなかった。

また、WAN側については定期的に全学校のトラフィック量の計測を行った結果、現構成は1Gbpsの帯域を共有している構成のため、一部の学校が大量にトラフィックを利用すると、その他の学校が想定した帯域を利用できないことが判明した。

（2）当該課題の解決方法と実施スケジュール

現構成では、大規模校の推奨帯域の確保が困難であることから、令和7年度に最大通信帯域を増強するとともに、学校毎の経路を最適化し、影響を最小限に抑え、各校における通信の均等化を図る。また、令和8年度に10Gbpsベストエフォート型の提供エリアとなることを見込まれるため、令和9年度のネットワーク機器更改時に10Gbps回線への切り替えを検討する。